

演題

「SPT を基本に長期メンテナンスを考える」



略歴

内山茂

1977年 東京医科歯科大学歯学部卒業

1984年から20013年 埼玉県所沢市開業

1998年から 東京医科歯科大学臨床教授

2013年から 東京医科歯科大学臨床研修医指導医

E-Mail: ij9s-ucym@asahi-net.or.jp

HomePage URL : <http://www.asahi-net.or.jp/~IJ9S-UCYM/>

抄録

歯周治療成功のカギは、継続した患者支援です。SPT（サポーターティブ・ペリオドンタル・セラピー）の目的は、歯周病の2大要因である炎症と力を継続してコントロールしながら「病状の安定」を図ることにあります。SPTにより患者さんは定期的に来院されますので、治療成績を高めるためにも、安定した歯科医院経営のためにもSPTは重要な治療オプションとなります。

SPTにおけるプロが行うinfection controlは歯肉縁上と歯肉縁下に分けて考えます。PMTCはそのうちの歯肉縁上、歯周デブライドメントは歯肉縁下のプロケアのテクニックとして位置付けられます。

本講演ではこれらの話題について、文献と症例の両面から解説します。

- まずは歯肉縁上のプラークコントロール
- PMTCを行う上での注意点
- セルフケア指導がうまくいかない時は
- PMTCやSRPを効率よく行うには
- SPTの成果を上げる一何を診て、何を行うか
- どうしても成果が出ない時の裏技
- メンテナンス継続のための秘訣
- 歯周デブライドメントのポイント

著書

- 「PMTC」. 歯界展望 MOOK. 医歯薬出版. 1998 年
- 「PMTC 2」. 歯界展望 MOOK. 医歯薬出版. 2003 年
- 「月刊 内山茂」デンタルダイヤモンド 2007 年
- 「力の本-dental overload syndrome」医歯薬出版 2012 年
- 「デンタルプレゼンテーション」デンタルダイヤモンド 2014 年
- 「新 PMTC」医歯薬出版 2016 年